

## 職員倫理綱領及び組織が求める職員像

### [職員倫理綱領]

私たちは、子どもの生命と人権を守り、育むとともに、子どもの最善の利益の実現を目指すことを使命として、次の倫理綱領に従って行動します。

**1. 私たちは、子どもの利益を最優先した養育を行います。**

一人ひとりの子どもの最善の利益を優先に考え、24時間365日の生活を通して、子どもの自己実現と自立のために、専門性をもった養育を展開します。

**2. 私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします。**

自らの思いこみや偏見をなくし、子どもをあるがままに受けとめ、一人ひとりの子どもとその個性を理解し、意見を尊重しながら、子どもとの信頼関係を大切にします。

**3. 私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重に努めます。**

子どもが自己の見解を表明し、子ども自身が選択し、意思決定できる機会を保障し、支援します。また、子どもに必要な情報は適切に提供し、説明責任を果たします。

**4. 私たちは、子どもと家族との関係を大切にした支援を行います。**

関係機関・団体と協働し、家族との関係調整のための支援を行い、子どもと、子どもにとってかけがえのない家族を継続して支えます。

**5. 私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します。**

子どもの安全安心な生活を守るために、一人ひとりのプライバシーを尊重し、秘密の保持に努めます。

6. 私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止に努めます。  
いかなる理由の差別・虐待・人権侵害も決して許さず、子どもたちの基本的  
人権と権利を擁護します。
7. 私たちは、最良の養育実践を行うために、専門性の向上を図ります。  
自らの人間性を高め、最良の養育実践を行うために、常に自己研鑽に努め、  
養育の専門性の向上を図ります。
8. 私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます。  
児童相談所や学校、医療機関などの関係機関や、近隣住民・ボランティアなどと  
連携し、子どもを育みます。
9. 私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働に努めます。  
施設の持つ専門知識と技術を活かし、地域社会に協力することで、子育て支  
援に努めます。
10. 私たちは、常に施設環境及び運営の改善向上に努めます。  
子どもの健康及び発達のための施設環境を整え、施設運営に責任を持ち、児  
童養護施設が高い公共性と専門性を有していることを常に自覚し、社会に対し  
て、施設の説明責任に基づく情報公開と、健全で公正かつ活力ある施設運営に  
努めます。

### [組織が求める職員像]

- 子どもの気持ちに寄り添い「子どもを愛するところ」を基本とします。
- 現状に満足することなく、常に前向きな姿勢で仕事に取り組みます。
- 一人よがりではなく他の職員と協力してチームケアに努めます。
- 秘密主義に陥ることなく情報の共有化に努め、個人情報の保護と情報の共有化を両立させます。
- 各職種は各々の専門性を向上させ、日々、キャリアアップに努めます。
- 幹部職員は中堅職員に、中堅職員は経験の浅い職員に、実践の中で培ってきたケアの技術や知識を伝授します。